

／テクノス 代表取締役
社長 中川則成氏

——昨年はいかがでしたか。

中川 放射能問題で問い合わせが増えました。活性水素水には、活性酸素、放射性物質を除去する機能があります。昨年9月に日本経済新聞に「磁性を持った微粒子が最短15秒でセシウムを除去する」という記事が掲載されました。

東京慈恵会医科大学の並木禎尚先生が、磁性を持ったナノメートルサイズの微粒子を使って、海水や牛乳、血液の液体成分から放射性物質であるセシウムを最短15秒で99・9%を除去したという内容です。その磁性を持った微粒子というのはFe₂O₃のことで、私どもの活性水素水「奥長良川の秘水」を製造する際に使われるテクノス糊の特許取得済の活水装置には、24,000ガウスの永久磁石が組込まれており、セラミックボールに含まれているFe₂O₃（2価酸化鉄）が磁気化され、更にセラミックボールには、アルミノケイ酸も含まれています。——それはすごいですね。中川 10月に開催されたマイナスイオン学会で

は、玉川大学農学部の八並一寿教授が「除染食品と機能水との関連」と題して活性水素水の放射性物質除去について発表しています。「活性酸素の過剰な発生は各種疾病の原因となり、放射線被曝も体内で余分なヒドロキシラジカル生成の原因となる。還元力を持つ水は還元水と定義され、活性水素を含むか発生させる水、活性酸素を消去する水と定義できる。低線量長時間被曝が心配される時代には、こうした機能水の飲用が重要であり、積極的に活用すれば必要のない体内被曝が予防できる」ということです。

——活性酸素はがんや多くの病気の原因と言われていますからね。

中川 がん患者に対する有効性は多くの事例で確認していますが、そのメカニズムは活性酸素除去だけでなく、がん細胞の増殖に必要な鉄の除去にあるのではないかと考えられます。

昨年、山口大学の坂井田功教授が、抗がん剤が効かなくなった進行性の肝臓がん患者に対して鉄の除去剤を使ったところ治療効果があることを確認したので、坂井田教授は、がん細胞が増殖す

るのに必要な鉄を除去したことで増殖が抑えられたのではないかと断言しています。活性水素水には、体内の余分な鉄分を排出する作用があるのかもしれない。

——鉄の除去というのは興味深い話ですね。商品についてお聞かせ下さい。中川 水は加熱殺菌すると酸素、炭酸ガス、ミネラルがなくなつて美味しくくない一種の死んだ水になってしまいます。私どもの「奥長良川の秘水」は、非加熱無菌充填の活性水素水です。軟水で非常にまろやかな味です。

活性水素水は非常に高い還元力を持っています。すなわち非常に高い酸化防止効果を持っているということです。天然水を研究している中尾政裕氏が天然水の酸化について実験を行い、「奥長良川の秘水」の酸化防止効果を確認しています。

4種類の同量の天然水が入ったコップに同サイズのクリップを一つずつ入れ、ガラスケースに放置してクリップが錆びる様子を見ました。他の天然水は1週間前後で錆が発生しましたが、「奥長良川の秘水」は1カ月以上全く錆びる様子が見られませんでした。

インタビュー

ヘルスビジネスマガジン社では3000ブースの出席を誇る世界最大の健康食品・自然食品の展示会「ナチュラル・プロダクツ・エキスポ・ウエスト2012」(米国西海岸・アナハイム)をはじめ、ロサンゼルス市内及び近郊の店舗(サプリメント専門店、大型ドラッグストア、大型自然食品スーパー、量販店など)やサプリメント製造工場を視察するツアーを行います。また、現地業界関係者のセミナーも行います。海外渡航が初めての方、英語が話せない方でも安心して参加できます。お気軽にお問い合わせください。

【主催】主催/株式会社ヘルスビジネスマガジン社

【日程】平成24年3月8日(木)~14日(水)5泊7日(アナハイム3泊・ロサンゼルス2泊)

【訪問先】米国・アナハイム及びロサンゼルス市内

【内容】

◆世界最大の健康食品・自然食品の展示会「ナチュラル・プロダクツ・エキスポ・ウエスト2012」の視察

◆米国業界関係者のレクチャー(市場や研究動向などについて)

◆

か。昨年はいかがでしたか。中川 放射能問題で問い合わせが増えました。活性水素水には、活性酸素、放射性物質を除去する機能があります。昨年9月に日本経済新聞に「磁性を持った微粒子が最短15秒でセシウムを除去する」という記事が掲載されました。

東京慈恵会医科大学の並木慎尚先生が、磁性を持ったナノメートルサイズの微粒子を使って、海水や牛乳、血液の液体成分から放射性物質であるセシウムを最短15秒で

99・9%を除去したという内容です。その磁性を持った微粒子というのはFe₃O₄のことで、私どもの活性水素水「奥長良川の秘水」を製造する際に使われるテクノスの特許取得済の活水装置には、24000ガウスの永久磁石が組込まれており、セラミックボールに含まれているFe₃O₄(二価酸化鉄)が磁気化され、さらにセラミックボール

オン学会では、玉川大学農学部の中井一寿教授が「除染食品と機能水の関連」と題して活性水素水の放射性物質除去について発表しています。「活性酸素の過剰な発生は各種疾病の原因となり、放射線被曝も体内で余分なヒドロキシラジカル生成の原因となる。還元力を持つ水は還元水と

に活用すれば必要のない体内被曝が予防できる」ということです。活性酸素はがんや多くの病気の原因と言われていますからね。中川 がん患者に対する有効性は多くの事例で確認していますが、そのメカニズムは活性酸素除去だけでなく、がん細胞の増殖に必要な鉄の除去に

たことで増殖が抑えられたのではないかと考えています。活性水素水には、体内の余分な鉄分を排出する作用があるのかもしれない。鉄の除去というのは興味深い話ですね。中川 水は加熱殺菌すると酸素、炭酸ガス、ミネラルがなくなって美味しくならない一種の死んだ水になってしまいます。私どもの「奥長良川の秘水」は、非加熱無菌充填の活性水素水です。軟水で非常にまろやかな味です。活性水素水は非常に高い還元力を持っていません。すなわち非常に高い酸化防止効果を持っているということです。天然水を研究している中尾政裕氏が天然水の酸化防止効果を確認しています。4種類の同量の天然水が入ったコップに同サイズのクリップを一つずつ入れ、ガラスケースに放置してクリップが錆びる様子を見ました。他の天然水は1週間前後で錆が発生しましたが、「奥長良川の秘水」は1カ月以上全く錆びる様子が見られませんでした。



会社概要

設立：1994年3月
資本金：5000万円
業務内容：食品・薬品業界のトータルエンジニアリング業務、活性水素水製造用活水装置の開発による非加熱無菌常温充填プラントの設計・施工
☎03-3204-9771

には、アルミノケイ酸も含まれています。—それはすごいですね。中川 10月に開催されたマイナスイ

定義され、活性水素を含むか発生させる水、活性酸素を消去する水と定義できる。低線量長時間被曝が心配される時代には、こうした機能水の飲用が重要であり、積極的

あるのではないかと考えられます。昨年、山口大学の坂井田功教授が、抗がん剤が効かなくなった進行性の肝臓がん患者に対して鉄の除去剤を使ったところ治療効果があることを確認したのでした。坂井田教授は、がん細胞が増殖するのに必要な鉄を除去し

なっています。私どもの「奥長良川の秘水」は、非加熱無菌充填の活性水素水です。軟水で非常にまろやかな味です。活性水素水は非常に高い還元力を持っていません。すなわち非常に高い酸化防止効果を持っているということです。天然水を研究している中尾政裕氏が天然水の酸化防止効果を確認しています。4種類の同量の天然水が入ったコップに同サイズのクリップを一つずつ入れ、ガラスケースに放置してクリップが錆びる様子を見ました。他の天然水は1週間前後で錆が発生しましたが、「奥長良川の秘水」は1カ月以上全く錆びる様子が見られませんでした。

テクノス

代表取締役社長

中川則成氏

放射能除去、鉄分除去で話題に